

平成29年度 第2回 岐阜県地方独立行政法人評価委員会（看護大学関係）

—— 議 事 要 旨 ——

- 1 日 時 平成29年8月18日（金） 13:00 ～ 13:30
- 2 場 所 シンクタンク庁舎 5階 大会議室
- 3 出席者  
[委 員] 湊口委員長、石原委員、富田委員、芝田委員  
[専門委員] 石山専門委員  
[法 人]（公立大学法人岐阜県立看護大学）黒江理事長、佐藤事務局長  
[設立団体]（岐阜県）松原医療福祉連携推進課長、村瀬看護対策監、  
飯沼看護係長 ほか
- 4 議 事 等  
[議 題 1] 平成28年度財務諸表について  
[議 題 2] 利益処分について  
[議 題 3] 平成28年度業務実績に関する評価について  
[報 告] スケジュール
- 5 配布資料 次第、出席者名簿、配席図、資料（看大）1-1～1-2、参考（看大）、  
資料（看大）2、資料（看大）3-1～3-3、報告
- 6 議事要旨

## 議事概要 看護大学関係

[審議事項：議題 1 及び議題 2]

公立大学法人岐阜県立看護大学の平成 28 年度財務諸表について

公立大学法人岐阜県立看護大学の利益処分について

資料（看大） 1－1 ～ 資料（看大） 2 に従い事務局及び法人から説明

### 法人から財務諸表の概要を説明

【看護大学 佐藤事務局長】

資料 1－2 に沿って、説明する。資産は 4,319 百万で、うち土地及び建物の 35 億はすべて法人設立時に岐阜県から承継したもの。固定資産の減価償却で 110 百万円、県への積立金の返還で 55 百万円があり、昨年度と比べると若干減少している。負債の部について、総額は 614 百万円でそのうち資産見返負債は約 5.2 億円あり、その多くは法人設立時に岐阜県から譲与された償却資産に対応するもので、減価償却又は除却に応じて負債から収益に振り替えられる。運営交付金債務の約 1,000 万円については翌事業年度の運営費交付金で精算する。未払金約 4,900 万円は平成 29 年 4 月に支払期限の到来する契約の相手方に対する金銭債務である。純資産の部について、資本金約 47 億は県からの出資によるもの。当期末処分利益は約 2,900 万円となっている。

損益計算書について、経常費用は 890 百万円で、若干減少している。収益については、主たる財源として、運営費交付金で約 6.6 億円、法人の主たる自己収入である授業料等収益で約 2.1 億円となっている。当期純利益は約 1,100 万円、目的積立金取崩額は約 1,800 万円当期総利益としては約 2,900 万円となる。

キャッシュ・フロー計算書について、業務活動によるものは支出が約 8.7 億円、収入が約 9.0 億で差引 3,800 万円の増加があった。主な支出は商品、サービスによるもの及び人件費である。主な収入は運営費交付金及び授業料等収入によるもの。投資活動は固定資産の取得で約 1,600 万円の資金減、定期預金からの払い戻しで約 1.0 億円の資金増があった。財務活動については主にリース債務の返済、第一期中期計画期間終了に伴う県への返金で約 7,500 万円の資金減少があった。

行政サービス実施コスト計算書について、業務費用は損益計算書上の費用から自己収入等を控除した約 6.7 億で住民等が負担するコストとして認識する。損益外減価償却相当額は法人設立時に岐阜県から承継した建物や目的積立金により購入した工具器具備品等に係る減価償却累計額約 0.8 億円は、財産的基礎の減少と考え損益計算書上の費用に計上せず、資本剰余金を減額する処理を行うため、住民等が負担するコストとして認識する。引当外賞与増加見積額は運営費交付金により財源措置されるため引当金を計上しない引当外賞与増加見積額について、住民等が負担するコストとして認識する。機会費用は約 800 万円住民等が負担するコストとして認識する。以上で財務諸表の概要の説明を終わる。

## 質疑応答

### 【芝田委員】

資産除去債務について、前年度質問し、確認するということがあったが、その結果はどうだったか。

### 【看護大学 佐藤事務局長】

宿舍の土地については羽島市が誘致条件の一つとして提供したもので、大学が存続している限り宿舍をなくすことはない。宿舍は償却期間を経過しても居住不能な状態となるまで使用を継続することが可能であり、建物の償却期間をもって算出することは合理的ではないとの理由からこれまで計上してこなかったものである。

監査法人にも相談し、一つの案として示されたのが、現時点で原状回復費用を見積もり、金銭債務としては認識するが、大学の運営全体からみて金額的にそれほど重要なものでなければ、資産除去債務として計上しないということ。見積もるにも費用がかかるため、ひとまず現時点においては昨年度と同様にした。

### 【芝田委員】

必要な時に認識するより、事前に把握しておくことは重要である。そのうえで、金額的に重要性がなければ、計上しなくてもよいと思うが、検討してほしい。

### 【湊口委員長】

他にご意見・ご質問がないようなので、財務諸表及び利益処分について、当委員会としての意見書を知事に提出することについて、決定したいと思う。

意見書（案）のとおり、看護大学の平成28年度財務諸表及び利益処分について、「承認することが適当である」という意見書を知事に提出することとしたいが、これにご異議はないか。

（異議なしの声）

### 【湊口委員長】

異議なしと認める。看護大学の平成28年度財務諸表及び利益処分について、（案）のとおり、知事に意見書を提出することに決定した。

[議題3]

公立大学法人岐阜県立看護大学の平成28年度業務実績に関する評価について

資料(看大)3-1 ~ 資料(看大)3-3 に従い事務局から説明

質疑応答

【湊口委員長】

小項目ごとの検証・確認のうち、評価委員会としてコメントを付す項目について審議したいと思うが、資料(看大)3-1について、委員・専門委員からご意見、ご質問はあるか。

(質疑なし)

【湊口委員長】

法人から何かご意見はあるか。

(質疑なし)

【湊口委員長】

ご意見、ご質問が特にないので、当委員会として、小項目ごとの検証・確認の審議を終了する。「資料(看大)3-1」の結果を盛り込んだ全体の評価資料が「資料(看大)3-2」の「小項目別評価結果一覧(原案)」となる。特に修正がなかったため、「資料(看大)3-2」に記載された「評価案」のとおり決定することとしたいと思うが、ご異議はないか。

(異議なしの声)

【湊口委員長】

異議なしと認める。本案は原案のとおり決定した。

資料(看大)3-3 に従い事務局から説明

質疑応答

【湊口委員長】

委員・専門委員からご意見、ご質問はあるか。

(質疑なし)

**【湊口委員長】**

法人から何かご意見はあるか。

(質疑なし)

**【湊口委員長】**

ご意見、ご質問も特にないので、委員会として全体評価を決定したいと思う。特に修正がなかったため、原案のとおり決定することとしたいと思うが、異議はないか。

(異議なしの声)

**【湊口委員長】**

異議なしと認める。本案は原案のとおり決定した。

この後、法人に対して評価結果(案)を評価委員会の案として通知し、法人からの意見申出を受けるが、法人から特に意見がない場合は、(案)のとおり評価結果を決定する。また、法人から意見の申出があり、それによって評価結果(案)の修正が必要と認められる場合は、改めて委員・専門委員の皆様にご意見を伺おうと思うが、具体的な方法については、委員長である私に一任するというところでよろしいか。

(異議なしの声)

**【湊口委員長】**

異議なしと認める。その後の対応については、事務局を通じて改めてご連絡させていただく。

最後に、会議の全体を通して、ご意見、ご質問等あるか。

**【富田委員】**

財務諸表の行政サービス実施コスト計算書は、地方独立行政法人なので作成することとされているもので、法人の業務運営に関して、納税者である住民等が負担することとなるコストを計算したもの、という理解でよろしいか。

**【看護大学 佐藤事務局長】**

はい。